

塩沢みつえさんへのご支援を
よろしく願います。

●市政へのご要望、日本共産党へのご意見を聞かせください。

日本共産党

塩沢みつえ



平和

大切な我が子はもちろ
ん、すべての子どもたち
が平和に過ごしてほしい。
ロシアとウクライナの攻防はその思いを二
層強くさせました。武器も核もいらぬ。
憲法9条を守り、被爆地「ロシマ」から平和
の波を。

福祉

聞こえにくくて人と会う
のが怖い、子育てがしん
どい、学校がしんどい…
困っている人の声をたくさん聞きました。
誰もが幸せに暮らせる社会を目指して、み
なさんの願いを市政に届けていきます。

安心

3年続いたコロナ禍で、人
暮らしの息子や高齢の母
がコロナにかかった時は本
当に心配でした。難聴を持つ知
り合いは病院でのコミュニケーションを心配
しています。病気になることも、障害があつて
も子どももお年寄りも、人ひとりが大切
にされ誰もが生きやすい、安心して暮らせ
る福山市を築きたいです。

戦争の準備より、平和の準備を

平和

福祉

安心

教育・福祉現場で32年
誰もが安心して暮らせる社会に



日本共産党

福祉・女性対策委員長

塩沢みつえ

《プロフィール》1969年生まれ。愛媛県出身。愛媛大学教育学部卒業。県立宇和豊学校幼稚部へ。その後、難聴児への言語訓練の指導員を務めながら、特別支援学校や療育施設、難聴者への講話学習会など、教育・福祉・療育現場で32年。家族は夫と3人の子ども。神辺町十三軒屋に住む。趣味は花を見ながらの山登り、エクササイズ、ドラマ鑑賞。

党事務所 福山市津之郷町津之郷970-1 TEL 084(952)2662 FAX (952)2660
Eメール: shiozawa@f-jcp.com HP: http://www.f-jcp.com/

福山民報 号外2023年 日本共産党東部地区委員会 日本共産党は塩沢みつえの活動を紹介します。



友だち募集中

私たちが応援します!



補聴器の公的助成を求める会
井上佐智子さん



療育施設職員
大深明美さん



介護士
八幡裕子さん



友達
大塚由希子さん

ご支援をお願いします



河村ひろ子(広島県会議員)
明るい笑顔で、何事も一生懸命にとりくむ姿が素敵です。人の心の痛みに共感し丁寧によりそう塩沢さん。みなさんの大切な声を市政に届けるために頑張ってくれると確信しています。熱いご支援をよろしくお願いいたします。



高木たけし(福山市会議員)
福山市議として6期24年間お世話になりました。フレッシュパワーで頑張る塩沢さんです。必ず議席を引き継ぎさせて下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

塩沢みつえのお約束

- 学校給食費の無償化
- 子ども医療費18歳まで無料化
- 国民健康保険料、介護保険料の引き下げ
- マイナ保険証の中止を
- 消費税5%減税・インボイス中止
- 男女の賃金格差をなくす、LBGTQ支援
- 河川整備や土砂災害危険箇所の安全対策
- デマンドタクシーなど公共交通の拡充を
- 給付型の奨学金制度の拡充
- 補聴器購入の助成制度の創設
- 障害者施策の話し合いに障害当事者の参加を位置づける
- 障害児者の社会参加を促進させるまちづくりを
- 福祉労働者の処遇改善



塩沢みつえ

みんなちがって、みんないい 一人ひとりが大切にされる 社会を



後援会申込書
日本共産党
福山市

お名前(ふりがな)

ご家族

子ども時代 のびのび育ったのは 平和だからこそ



● 鼓笛隊の隊長を務めました。



● クラスみんなで劇に取り組みました。 ● 家族でお弁当(真ん中が私)



幼稚園時代は男の子に追いかけてよく泣いていましたが、小学校に入ると2つ下の妹をいじめる男の子をやっつける正義の味方?!に。同級生17人、全校児童100人余。のびのび過ごしました。川で泳いだり、道端のみかんを拾ったり、家族みんなで公園や海に出かけたり。母のお弁当が楽しみでした。これも平和だからこそ。

いざ、教育・福祉の現場へ

子どもたちとのかかわりは楽しく、充実していました。でも職員の人数はギリギリで仕事量も多く、その上に低賃金。一人ひとりの発達を支える大切な仕事なのに、余裕のない日々でした。働く人の処遇を改善し、ゆとりを持ってかわられる福祉の現場にしたい。それが子どもたちのためにもなると考えるようになりました。



● 養学校での様子

補聴器購入の 公的助成署名に取組む

ストレスや加齢などで誰でも起こりうる難聴。全国では補聴器購入助成は123市区町村に広がっています(2022年度末)。「高すぎて購入できない。福山市でも実現を」難聴者の願いを届けるため署名に取組み始めました。「私たちのことを私たち抜きで決めないで」...国連の障害者権利条約の合言葉です。当事者の声を聞く福山市政に!みんなで力を合わせて制度実現へと頑張ります。



学生支援

~大学生の息子を持つ
一人の母として~

コロナ禍でバイトも人と会うことも制限された学生に何かできることはないかと考え、学生支援に関わり始めました。「奨学金の返済が不安」「学費が高くてバイトばかり」...学生の切実な声を広島県に届けました。これからも学生を応援し続けます。



学生時代 私の生き方を変えた ~聴覚障害の方との出会い~

大学で聴覚障害の方に初めて出会いました。私は手話の意味がわからず、ただ笑顔でうなずくだけ。「わからない時はわからないと言わなきゃ話ができないよ。」その言葉が胸に刺さりました。手話を学び、共に活動することで少しずつ伝わるようになり、お互いの理解が深まりました。声でも、手話でも、筆談でも、自分に合う方法を選んで使えたらいい。「一人ひとりが大切にされ、安心して自分らしく生きていくのがいい。」これが、私の軸になりました。



● 手話通訳に挑戦。



● 手話劇「聴覚障害者が入院したらどうなる?」セリフを手話で表し、字幕をつけました。

母として ~平和を願う~

3人の子どもたちは大きくなりました。庭で遊んだことも、一緒にご飯を食べたことも、平和だからこそ味わえた幸せだと実感しています。奪い合う戦争も武器もいりません。親として、子どもたちにかかわる大人の一人として、憲法9条を守り、幸せを守り続けていきたい。



ご住所
福山市

電話:
Eメール:

(FAX: